

平成 26 年度 (平成 25 年 10 月)

大学院生命科学院 修士 (博士前期) 課程入学試験

英 語 問 題

受験に関する注意事項

- 1) 試験時間 10:00~11:30
- 2) 以下の3問について、すべて解答すること。
問題1 「和文英訳」
問題2 「英文和訳」
問題3 「総合問題」
- 3) 解答用紙には、「氏名」及び「受験番号」を必ず記入すること。
- 4) 解答は、各問題専用の解答用紙に記入すること。
- 5) 解答が用紙の表面に書ききれない場合は、同じ解答用紙の裏面に記入してもよい。
ただしその場合は、裏面に記入があることを明記すること。
- 6) 白紙の紙は、草案紙として使用し、試験終了後には持ち帰ること。

問題1 「和文英訳」

(1) 次の文章を英訳せよ。ただし、文章の意味するところが同じであれば、逐語訳をする必要はない。(以下は、FAO web site の news article, Mike Chipalasa, 26/7/2013 の内容を参考に書かれた文章である)

アフリカ東部に位置するマラウイ湖 (Lake Malawi) は、アフリカ大陸で3番目に大きな湖である。マラウイ湖では、漁業 (fisheries) や養殖業 (aquaculture) が盛んである。マラウイ湖で水産業 (fisheries industry) や周辺産業に従事する人は35万人と見積もられている。マラウイ国 (Malawi) におけるGDPにしめるマラウイ湖のこれらの産業の割合は、4%に達する。

近年、マラウイ湖の魚種資源 (fish stocks) は徐々に減少していることが明らかになっている。マラウイ湖の魚種資源は、環境と地域経済の両方を考慮に入れつつ、長期的な視野のもと、管理していく必要がある。

(2) 以下の架空の設定を読んで、ABC財団にあてる電子メールの文章を、英文で書きなさい。ただし、以下の a-d の内容を含むこと。一般的な英文の手紙や電子メールの形式にのっとって記載すること。文字数に制限はない。

「架空の設定」

2014年4月に生命科学院 (Graduate School of Life Science) に入学したばかりのあなたは、2014年8月10日から8月17日までアメリカのサンフランシスコで、世界中の大学院生のために生命科学のサマースクールが開催されることを知った。このサマースクールの名称は The ABC Foundation Life Sciences Summer School である。このサマースクールへの参加は、ABC財団の援助によって行われるので、旅費と参加費は無料である。ABC財団のPresidentはJohn Brown氏である。あなたは、ABC財団にあてて、電子メールを書いて、このサマースクールに参加する許可をもらいたいと考えている。

「電子メールの本文に含むべき内容」

- a. 自己紹介
- b. サマースクールに参加したいということ
- c. 自分は大学院でどんな研究をしたいと考えているか
- d. サマースクールが自分の研究にどのように役に立つはずか、ということのアピール

(自分の研究内容に関しては架空の内容で構わない。また、サマースクールの内容は、自分の研究に関係するものや、自分が大学院で習得したいと思っている技術などを適当に想定して書いても構わない。

ヒント：大学院生は英語で graduate student, 学部学生は undergraduate student である。)

問題 2 「英文和訳」

(A) 下線部を和訳せよ.

この部分の文章は著作権法上の理由から掲載することができませんので、
ご了承願います。

Editorial “Form and function” in *Nature* **495**, 141 (2013) より抜粋

注： intricacy, 錯雑（複雑）

(B) 下線部(1), (2)を和訳せよ.

この部分の文章は著作権法上の理由から掲載することができませんので、
ご了承願います。

David W. Pfennig et al. “Life imperfectly imitates life” in *Nature* **483**, 410–411 (2012) より抜粋

注： posit, 仮定する

問題3「総合問題」

次の英文を読み、以下の問に答えよ。

この部分の文章は著作権法上の理由から掲載することができませんので、
ご了承願います。

Virginia Huges, “Our Body the Ecosystem”, The Best American Science and Nature Writing 2012 より一部改変

注) fungi, 菌類; protozoa, 原虫; *Staphylococcus aureus*, 黄色ブドウ球菌; *Streptococcus pyogenes*, 化膿レンサ球菌; infection, 感染; *Staphylococcus epidermidis*, 表皮ブドウ球菌; churn out, 大量生産する; Serge = Julie Serge, a geneticist at the NIH; eczema, 湿疹; flare, 炎症

問1 (a)～(c)にあてはまる語として、文意及び文法的に最も適切なものを選べ。

問2 下線部(1)を和訳せよ。

問3 下線部(2)を和訳せよ。

問4 下線部(3)の“Human Microbiome Project”とはどのような計画であると考えられるか。

問5 下線部(4)について内容を具体的に記せ。

問6 下線部(5)の箇所に関して、日本語に当てはまる英文となるように、以下の語句を並べ替えよ。

[problems, complex, interactions, skin, sense, it, could, disrupting, that, these, so, microbial, lead, to, makes]